



大宮小だより

R3年 7月21日 No.6

発行 阪井宏行

～自ら学び、心豊かで、しなやかに生きる子どもの育成～

4,5年生 **かかし** 案山子づくり ～米作り(地域学習)の一環で～

7月9日(金)、「人とホテルの元気な里地づくりプロジェクト」のメンバーの皆さんを講師に迎え、4,5年生が案山子づくりを行いました。この学習は、5月に始まった地域学習【米作り】の一環で、昔ながらの案山子を作り、田んぼに置こうという取り組みです。

当日は5年生がリーダーとなり会を進行しました。司会進行や挨拶はとても素晴らしく、5年生の成長を感じさせる場面が多くありました。4,5年生混合の5班を編成し、5体の案山子を完成させました。地域の方と相談しながら生き生きと活動する姿が見られました。



懇談時に保護者の皆さんに見てもらおうと、しばらく学校に置いてあります。最近は慣れましたが、置いた当初はその気配にドキッとして、「案山子か。」と思うことがしばしばありました。9月10日には稲刈りが行われ、できたお米は文化祭などで販売する予定です。売上は来年度への活動資金にもなりますので、その時には是非ともご協力をお願いします。

度会特別支援学校との交流及び共同学習

7月16日(金)、度会特別支援学校との交流・共同学習を行いました。度会特別支援学校の小学部にこの春入学した奥山れん君は、滝原在住の小学1年生です。小さい頃の病気で、現在

は人工呼吸器をつけて生活しています。今回は、居住地校交流という形で、れん君と担任の立野先生、及び保護者の方が来校されました。交流・共同学習の1限目は全校集会。①はじめに②れん君のお母さんからのお話 ③担任の立野先生かられん君の紹介 ④最後にみんなからの質問という流れで、全校児童との対面交流を行いました。2限目は、同じ学年の1年生と音楽の授業、手拍子や打楽器を使ってのリズム打ちや歌をうたう学習を行いました。保育園で一緒に生活していた1年生は、れん君との久しぶりの再会を喜んでいました。

この交流及び共同学習は、障がいのある子どもにとっても、障がいのない子どもにとっても、経験を深め、社会性や豊かな人間性を育む重要な役割を果たします。そして、同じ社会や地域に生きる仲間として、お互いを正しく理解し、共に支え合って生きていくことの大切さやその行動を学ぶ場でもあります。…… 次回の学習は2学期に予定しています。



『人権の花運動』の取り組み ～育てた花を地域に配付～

大宮小学校では、市町法務局・人権擁護委員協議会・人権啓発活動地域ネットワーク・大紀町住民課と連携して、『人権の花運動』に取り組んでいます。そのねらいは、全校児童で花の種子から花を育てることにより、協力・感謝・命の尊さなどを実感し、その中で思いやりや優しさ、人権尊重の精神を培おうとするものです。

5月より、児童会本部役員と園芸委員をリーダーとして、全校児童で種まきや植え替えを行ってきました。昨日、住民課の方に協力していただき、児童会役員と園芸委員が、育てた花を滝原と阿曾の6か所の施設に届けました。



夏休み中の緊急連絡先について

- ◆ 夏休みの平日、学校は 8:00～16:30の間、開いています。(☎86-7711)
- ◆ 学校閉校日(8/10～16)や土日祝祭日の緊急連絡は、教育委員会(☎72-4040) または、役場本庁(☎86-2212) に電話をしてください。